

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 14 No 04

153号

平成18年 4月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

ヤバイっす

—WBC初代王者に— 院長

時間がたっしまい、少し興奮が冷めましたが、今回はワールドベースボールクラシック(WBC)について書いてみます。我々の世代、子ども頃のスポーツと言えば野球。現在のリトルリーグの前身の少年野球大会にも参加し、プロ野球の黄金期、王・長島時代を過ごしました。WBCに引き込まれるもう一つの理由は、古い人間なのでAll JAPANとか日本代表というネーミングに引かれるのです。普段Jリーグにあまり感心はないのですが、以前記事にしましたがWorld Cupという文字だけで興奮してしまうタイプです。トリノオリンピックの荒川静香の金メダルも、また同じです。ま、よく言えば、愛国心なのでしょう。

実は、WBCが始まる前には、関心はわずか。大リーグとは差があり、足元にも及ばないという気持ち。3月3日から始まった1次リーグ。当然のことながら、中国、台湾を撃破。冷静なイチローが「王監督に恥はかせられない」と、珍しく熱い発言を。そして、声が嘎れるまでに声を出していたイチロー。イチローに対する味方が少しずつ変わってきた。因縁の韓国戦の前には、「向こう30年、日本には手を出せないと思わせたい」と、大胆な発言に思わずびっくり。あのイチローが、こんな発言をと。結局、その発言が韓国選手に火をつけたのか、日本は3-2で惜敗。日の丸を背負って戦ったイチローの言葉「1点を取ればその1点が少なく感じるし、1点を取られればその1点がものすごく遠く感じる」ところがシーズンと違う」がとても印象的だった。

1次リーグを2位で通過し、いよいよアメリカでの2次リーグ。第1試合のアメリカ戦では、疑惑の判定。あの判定が無ければ勝っていたと、日本人であれば誰もが思ったはず。疑惑の判定が、またまた日本人の気持ちを熱くした。第2試合のメキシコとの負けられない一戦での勝利。第3試合は、因縁の韓国戦。しかし、またまた2-1で惜敗し、準決勝進出の望みは風前の灯。あきらめかけていた時に嬉しいニュース。アメリカがメキシコに負けて、棚ぼたの準決勝進出。

4月のお知らせ

・午後臨時休診(学会参加のため)

4月15日(土) 午後休診。

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30～ 栄養士担当



意気消沈後の進出で、また気持ちさらさら熱く燃えてきた。そして準決勝は、3度目の韓国戦。2度目の敗戦で、「野球人生で最も屈辱の日」と述べたイチローの言葉が蘇った。韓国を6-0で完封。この時期から、ひとつの目標を持ったAll JAPANがチーム一丸となって、優勝という目的に向かって突き進んだ。その後は承知のように、キューバを10-6で破りWBCの初代王座に。初代ということは、非常に大きな意味を持っている。永遠に語り続けられるという理由から、初代の持つ文字の意味は大きい。決勝視聴率が平均43.4%、瞬間最高は王貞治監督が胴上げされた場面の56.0%だったことが、日本中の盛り上がりを見せていた。国を愛する気持ちもまんざらではないと、診療の合間に見た勝利の瞬間には自分まで至福の時を感じる事が出来た。



イチローは大記録を残しているにもかかわらず、どちらかという愛想がなく個人主義者という見方をされていた。しかし、日の丸を背負ったWBCでのイチローは熱かった。自分の活躍に触れることも無く、「ヤバイっす」の言葉はとくに印象的だった。本当に「やばい」と、選手だけでなく日本中の多くの人たちも感じていたに違いない。「野球人生最高の日」の言葉とともに、「僕の方がチームメイトに持ち上げてもらった。このチームで、メジャーで戦いたいくらいだ」と目を潤ませた。個人主義より、「フォーザチーム」の大切さを伝えてくれたことが、優勝以上に大きなことだったと思う。もちろん監督の力も忘れてはいけない。卵を投げつけられた王監督、世界一はどんなに嬉しかったことか。王監督、そして全ての選手。おめでとう。そして、大きな感動をありがとう。

今回のWBCは様々なことを教えてくれました。苦境に立っても決してあきらめないこと。落ちたからこそ、はい上がる。落胆の後ほど喜びが大きいこと。ひとつの目標に向かって皆が協力すること。それと国を思う気持ちの大切さ。「フォーザチーム」は、言葉を変えれば「家族のために」、「社会のために」、「国のために」にも当てはまります。これらのことは、家庭や職場、そして社会を生きていく上でも、とても役立つことでしょう。

ゴールデンウィークの休診

休日当番(3.21)の代休と従業員慰安のため5月1-2日休診

4月29日～5月5日までお休みとなります。

御迷惑をお掛けしますがよろしくお祈りします。

読者の広場

先月は16通のメールを頂きました。相談事が多かったので、紹介は1通のみです。プライバシー関わることなので、匿名にしました。泉区のCさんからです。「昨年末に、吃音の相談に答えていただいた、〇〇です。大変遅くなってしまいましたが、改めてお礼を言いたくてメールしました。今でも、寝不足や疲れ気味の時などにどもりが見られますが、日常生活では気にならなくなりました。これも、先生に「××を信じろ」と言っていただけのおかげだと思っています。自分は心配性でせっかちなので、つい、「本当に大丈夫なんだろうか」という思いがよぎってしまうのですが、それでも先生に大丈夫と言っていたのだから、大丈夫なんだと自分に言い聞かせて、子どもを見守ってこれています。今年になってから病気知らずの子ども達で、先生のお世話になる機会がありませんでした。けれど、××の最近の遊びは弟を患者に見立てた「お医者さんごっこ」で、「ぼくはかわむらせんせいなんだ」と、おもちゃの聴診器を今日も、弟のおなかに当てていました(笑)。クリニックに行きたいといわれますが、健康が何よりですよ(笑)。次は次男△△の予防接種でお世話になると思います。(それまで病気をせずいられるとは思えませんが(苦笑))。乱文にて失礼致しました。」。親御さんは子どもを愛する余り、どうしても悪い方へ目がいきがちです。心配な時にはお子さんを信じて大丈夫と思うことは、とても大切なことだと思います。



ポリオ予防接種のお知らせ

今月はポリオの接種があります。年に2回ですので、該当する方は忘れずに受けるようにして下さい。ポリオの接種は2回です。日付と住所の表を渡しています。不明な点があれば、スタッフまで。

【対象年齢】 生後3カ月以上90カ月未満(無料)
(標準接種年齢は3~18カ月)
昭和50~52年生まれの方も対象(2000円)
(免疫の保有率が低いため)

院長は、**4月20日(木)青葉区保健福祉センターが、接種担当**ですが、成人の担当です。昭和50~52年のお母さん方には、再度接種することをお勧めします。お母さんと一緒なら、院長のところで大丈夫です。

予防接種の変更に関するお知らせ

4月1日から予防接種法が変わり、麻疹と風疹の混合ワクチン接種が始まりました。第1期の対象者は、12カ月~24カ月未満になります。第2期は就学前1年間(5~7才)ですが、両単独ワクチン未接種の場合に限り接種可能です。

予防接種法の改訂の混乱をさけるため、仙台市では経過措置を取るようになりました。期間が限定されているので、下記にあてはまるお子さんは早めに接種して下さい。

経過措置接種(単抗原ワクチン)：仙台市民のみ対象
対象者：取扱いは任意接種ですが、費用は仙台市が負担。

(1)生後12カ月以上~24カ月未満で以下に該当する方

- ①平成18年3月31日までに、『麻しん』又は『風しん』の何れか一方のみの予防接種を受けた方
- ②「麻しん」又は「風しん」の一方に罹患したことがあり、残る一方の予防接種を受けていない方

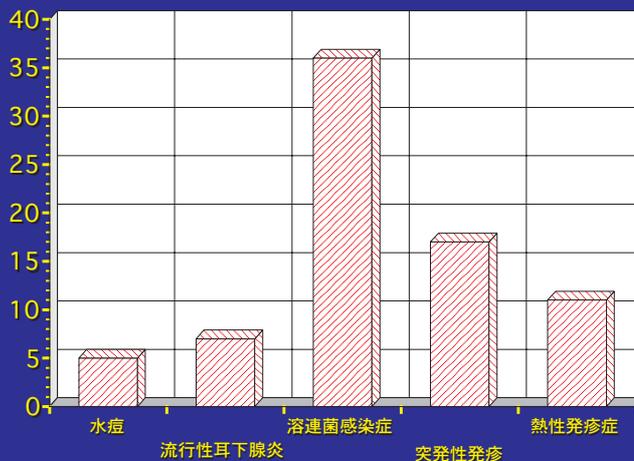
(2)生後24ヶ月~36ヶ月未満で以下に該当する方

- ①「麻しん」又は「風しん」の一方のみ予防接種を受けた方
- ②「麻しん」または「風しん」の一方に罹患したことがあり、残る一方の予防接種を受けていない方

③「麻しん」「風しん」両方の予防接種を受けていない方

36カ月~5才未満は定期接種から外れ、接種の場合は任意接種となり費用は自己負担となります。この期間では、自費での接種をお勧めします。単抗原ワクチンが定期接種となる予定ですが、時期なども含め詳細は不明です。不明な点は、スタッフまで問い合わせください。

3月の感染症の集計



水痘、流行性耳下腺炎は減少し、インフルエンザはみられなくなりました。溶連菌感染症は全国的に大流行し、当院でも1月16人、2月28人、先月は36人と激増しています。

3月31日のNHKラジオ「スポーツ健康情報」(7:45~)で、溶連菌感染症について、生電話で出演し解説しました。溶連菌感染症は、発熱、のどの痛みで発症し、毒素による発疹が1~2日後にみられます。発疹は全体に赤くなり、脇の下や下腹部に目立ちます。舌が赤くポツポツになるイチゴ舌や遅れて指先から皮がむけることがあります。集団生活に多く、飛まつによって感染し、潜伏期は2~5日。ペニシリン系の抗生物質がよく効き、2~3日で感染しなくなります。腎炎(浮腫や血尿)やリュウマチ熱(高熱、関節炎、心臓の障害)の合併症を予防するために、10~14日間の抗生物質の内服が必要です。

お母さんクラブの御案内 お母さんクラブの会員を募集中です。5月から新年度のお母さんクラブが始まります。参加御希望の方は、受付まで。

編集後記

溶連菌は多いのですが、他に大きな流行も無く落ち着いた季節です。4月から診療報酬が変わりましたが、小児科では大きな変化はありません。少子化対策や小児科の減少という事で期待していましたが残念です。ゴールデンウィークの休みでは、よろしくお祈りします。久しぶりにセブ島の友人に会い、リフレッシュしてきます。



K's clinic

院長著書「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん子どもの病気」の再版にご協力を。
詳しくはかわむらこどもクリニックHP(<http://www.kodomo-clinic.or.jp>)を